平成 27 年度　特別調査
「持参薬に関する現況調査」
調査票の記載要領（案）

DPC 対象病院における持参薬の取扱いについては、平成 26 年度診療報酬改定の際に厚生労働省保険局医療課長通知において持参薬に係る以下の規定（※）を設け、入院中の患者に対して使用する薬剤は、入院する病院において入院中に処方することが原則であることを明確にしたところです。

（※）
「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」（平成 26 年 3 月 19 日付け保医発 0319 第 4 号）　第 3 の 3 (2)（以下「留意事項通知」という）

入院中の患者に対して使用する薬剤は、入院する病院において入院中に処方することが原則であり、入院が予定されている場合に、当該入院の契機となる傷病の治療に係るものとして、あらかじめ当該又は他の病院等で処方された薬剤を患者に持参させ、当該病院が使用することは特別な理由がない限り認められない(やむを得ず患者が持参した薬剤を入院中に使用する場合については、当該特別な理由を診療録に記載すること。)。

一方で、専門病院等において持参薬が必要となる場合があるとの意見もあることから、持参薬の使用に関する医療機関ごとの状況の把握を今後検討することとされていました。

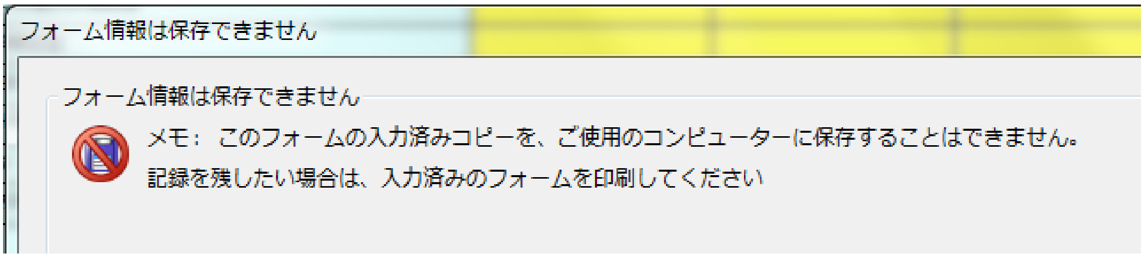
現在、診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会において次期診療報酬改定に向けた議論を行っていますが、持参薬の取扱いに関してアンケート調査を行った上でその方向性を検討してはどうかとの意見が出されています。
そのため、「持参薬に関する現況調査」として、DPC 対象病院全病院を対象にアンケート調査を実施することとしました。

つきましては、次ページ以降の記載要領をよくご参照の上、調査へのご協力をお願いいたします。

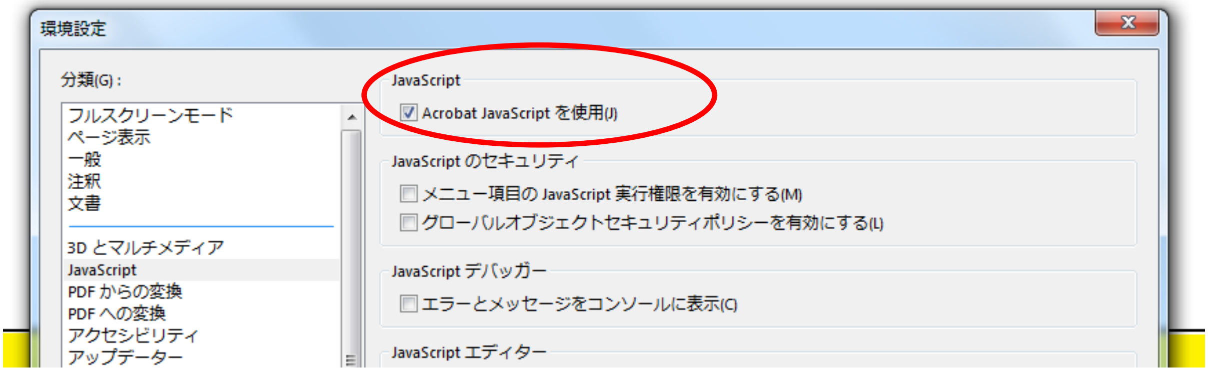
※調査票を入力いただく環境について

〇Adobe Reader のバージョンについて

本調査票は、Adobe Reader 11 以降のバージョンに対応しています。（Adobe Reader11 より古いバージョンですと、ファイルの保存の際に下記等のエラーメッセージが表示され、ファイルの保存がされません。お手数をおかけしますが、Adobe Reader 11 以降にバージョンアップした後、入力ください。）



〇調査票 PDF ファイル上部のツールバー「編集」タブの環境設定において、「Java Script」で「Acrobat JavaScript を使用」にチェックが入っていることをご確認ください。



1. 調査実施期間

調査票の配布　　　：平成27年●月●日（●）
調査票の提出期限　：平成27年●月●日（●）正午必着（e-mailで提出）

2. 調査票の準備

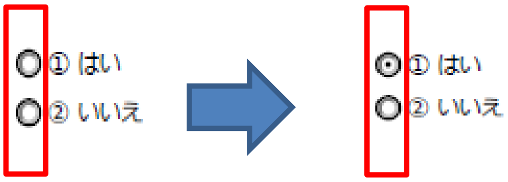
e-mailにて配布した「持参薬に関する現況調査 調査票（PDF）」を用いてください。調査票の配布後にe-mailにてお伝えしたパスワードを入力し、調査票を開いてください。

配布時ファイル名　：「●●●●_持参薬調査票.pdf」

3. 記載要領

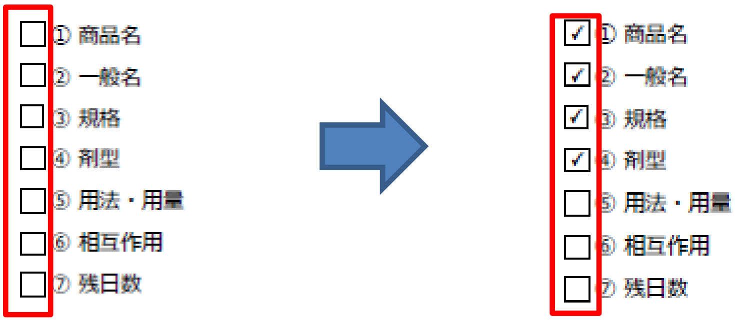
（1）記載方法について

○1 項目のみ回答を選択する場合



回答の左側にある「オプションボタン」をクリックしてください。一度オプションボタンを押下しますと、その設問の範囲内における「オプションボタン」の初期化はできません。いずれかひとつの回答を選択してください。

○複数項目について回答を選択する場合



回答の左側にある「チェックボックス」をクリックしてください。2 つ以上の回答の場合も、同様にクリックしてください。取消をする際は、「☑」を再度クリックすることにより取消可能です。

○規制された書式に則り入力する場合

（1）持参薬として使用を認めて欲しい薬効分類があればお答えください。（10個以内） ※調査用HPに掲載の「薬効分類番号表」を参照し、番号を記載ください。											
	①		③		⑤		⑦		⑨		
	②		④		⑥		⑧		⑩		

（1）持参薬として使用を認めて欲しい薬効分類があればお答えください。（10個以内） ※調査用HPに掲載の「薬効分類番号表」を参照し、番号を記載ください。											
	①	412	③	213	⑤		⑦		⑨		
	②	112	④	241	⑥		⑧		⑩		

各設問において、入力値の規制を付けておりますので、規制に従い入力してください。

（2）設問内における参照する薬剤一覧表および薬効分類表（3桁）について

設問によっては、薬剤のレセプト電算処理システム用コード（以下、「レセプト電算コード」という。）や、薬効分類番号（3 桁）を入力頂く箇所がございます。

以下の平成 27 年度「DPC 導入の影響評価に係る調査」ホームページ（以下、調査用ホームページという。）に「薬剤一覧表」及び「薬効分類番号表」を掲載しておりますので、ご参照頂き当該薬剤のレセプト電算コード（9 桁）および薬効分類番号（3 桁）をご入力ください。

調査用ホームページ：●●●●●●●●●●●●

【平成 27 年度特別調査　「持参薬に関する現況調査」に関する資料】

- 薬剤一覧表
- 薬効分類番号表

※　「薬剤一覧表」については、社会保険診療報酬支払基金の基本マスター（医薬品マスター）を用いて、当該特別調査用に加工したものとなります。あくまでも当該特別調査参考資料としてご参照ください。

※　薬効分類番号表については、総務省発行の日本標準商品分類（中分類 87－医薬品及び関連製品）を用いて、当該特別調査用に加工したものとなります。あくまでも当該特別調査参考資料としてご参照ください。

（3）留意事項

ご記入いただいた内容は、個別医療機関名を伏せた上で、中央社会保険医療協議会及び DPC 評価分科会で公表される可能性があります。

また、記載内容が不明確な場合等、より詳細な情報が必要な場合には別途厚生労働省保険局医療課より連絡をさせていただく場合があります。

4. 回答上の注意

- 持参薬とは、「自院もしくは他院で処方され（入外問わず)、当該入院期間中に持ち込まれた薬剤」の全てを指します。

- 【１（１)】【１（２)】を除き、ＤＰＣ対象となる入院基本料を算定する患者に関してお答え下さい。

- 【１（６)】に関しては、留意事項通知に定められた通り、診療録に記載された特別な理由から、主なものをまとめた上で転記して下さい。

- 【１（１１)】、【１（１２)】、【３（１)】および【３（２)】に関しては、上述の「薬剤一覧表」「薬効分類番号表」を参照し、持参薬の使用実績のある薬剤のレセプト電算コード、持参薬として認めて欲しい薬効分類番号（3 桁)、持参薬として認めてほしい薬剤のレセプト電算コードを 10 個以内で選択してください。(【１（１１)】、【１（１２)】に関しては、直近１ヶ月（平成２７年６月１日～平成２７年６月３０日）での実績使用数量が多かった順に薬剤上位 10 個を選択してください。

- 【２（６)】の選択肢②の「レセプト電算コード等」とは、『薬価基準収載医薬品コード』、『個別医薬品コード』、『JAN コード』および『レセプト電算処理システム用コード』等を指しており、上記コードで管理した薬剤リストからシステムに入力している場合に選択する。

5. 調査票提出前の確認事項

（1）施設コードと施設名の確認

「３．記載要領（３）留意事項」に記載されているとおり、別途連絡をさせて頂く場合がございますので、貴院の施設コードと施設名が正しく入力されていることをご確認ください。施設情報の「回答者の役職名」がない場合は、「なし」と入力ください。

（2）入力エラーメッセージの確認

調査票記入終了後、調査票の最終ページ下にある「提出用ファイル作成」を押下し、エラーメッセージの有無を確認してください。「…の入力に不備があります。」のメッセージが存在する場合、指摘された箇所が未入力でご

ざいますので、未入力箇所を入力してください。

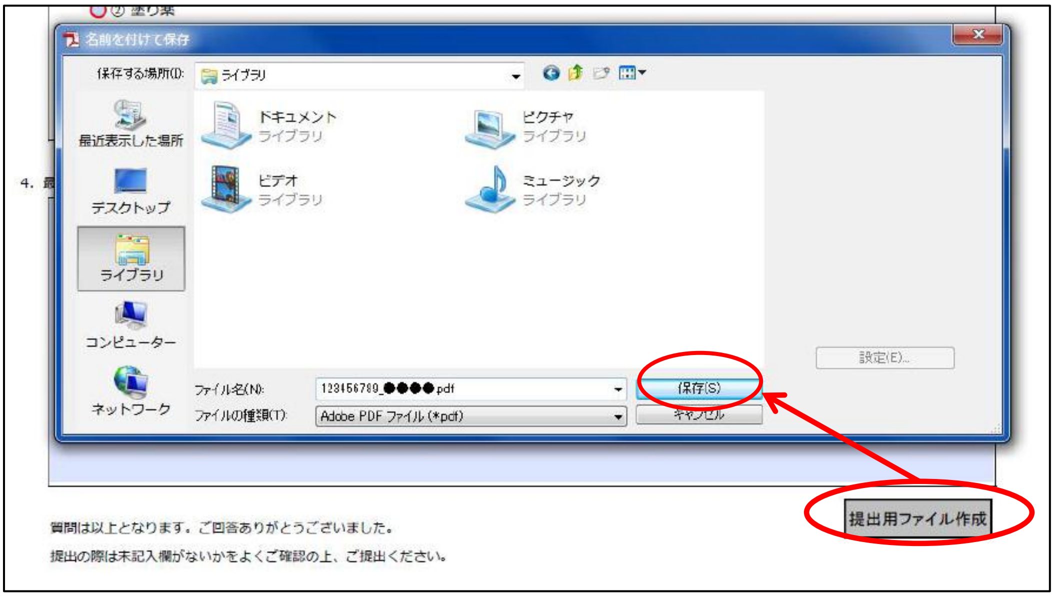
※　エラーメッセージが存在する調査票を提出した場合は、未提出扱いとなる場合がありますので、十分ご注意ください。

(3)ファイルの保存方法および提出用ファイルの作成

提出の際には、必ず調査票の最終ページ下にある「提出用ファイル作成」を押下して保存したファイルをご提出ください（次の図をご参照ください。）。

なお、入力の途中でファイルを保存したい場合は、画面左上の「ファイル」タブから保存、または「Ctrl」＋「S」キーで一時的に保存することが可能ですが、この方法で保存したファイルは、エラーチェックを経ていないことから、入力に不備があるファイルと判断される場合があるため、提出はしないでください。

また、ご提出頂く提出用ファイルは、配布時のファイル名を変えずにご提出ください。



図．提出ファイルの保存方法

6. 調査票の送付先及び問い合わせ

DPC 調査事務局　特別調査担当

e-mail アドレス：●●●@●●●●●●●

各医療機関へ送付された調査実施連絡のメールに対して返信すること

電話での問い合わせはしないこと（質問はメールで行う）

メールの件名は先頭に自院の施設コード（9 桁）を記載すること

「持参薬に関する現況調査」
調査票（案）

施設コード		施設名	
回答者の部署名		回答者の役職名	

1．貴院の専門領域、及び持参薬の使用実態についてお伺いします。

（1） 標榜診療科に類する診療科を全て選択ください。（複数選択可）
例）
標榜診療科が産婦人科 ⇒ ㉙産科、㉚婦人科を選択

- □ ① 呼吸器内科
- □ ② 循環器内科
- □ ③ 消化器内科（胃腸内科）
- □ ④ 腎臓内科
- □ ⑤ 神経内科
- □ ⑥ 糖尿病内科（代謝内科）
- □ ⑦ 血液内科
- □ ⑧ 皮膚科
- □ ⑨ アレルギー科
- □ ⑩ リウマチ科
- □ ⑪ 感染症内科
- □ ⑫ 小児科
- □ ⑬ 精神科
- □ ⑭ 心療内科
- □ ⑮ 呼吸器外科
- □ ⑯ 心臓血管外科
- □ ⑰ 乳腺外科
- □ ⑱ 気管食道外科
- □ ⑲ 消化器外科（胃腸外科）
- □ ⑳ 泌尿器科
- □ ㉑ 肛門外科
- □ ㉒ 脳神経外科
- □ ㉓ 整形外科
- □ ㉔ 形成外科
- □ ㉕ 美容外科
- □ ㉖ 眼科
- □ ㉗ 耳鼻いんこう科
- □ ㉘ 小児外科
- □ ㉙ 産科
- □ ㉚ 婦人科
- □ ㉛ リハビリテーション科
- □ ㉜ 放射線科
- □ ㉝ 麻酔科
- □ ㉞ 救急科
- □ ㉟ 歯科
- □ ㊱ 小児歯科
- □ ㊲ 歯科口腔外科

標榜科が、選択肢に挙げた診療科とは類しない場合に記載ください。

□ ㊳ その他 ＿＿＿＿＿＿ （20文字以内）

（2） 貴院が該当するものをお答えください。
①～⑭は2つまで選択可です（⑭の記載内容を含めて専門領域は2つまで）。
専門領域が3つ以上あれば、①～⑭は選択せず、「⑮ 総合病院」を選択ください。
また、自院を専門病院とお考えでない場合は、「⑮ 総合病院」を選択ください。
※ 専門病院とは、専門病棟入院基本料等の施設基準の取得の有無ではなく、明確な定義は定めませんので、
貴院の診療実態における定義で判断してください。また、内科／外科は問いません。

- □ ① がん専門病院
- □ ② 循環器専門病院
- □ ③ 内分泌専門病院
- □ ④ 脳神経専門病院
- □ ⑤ 呼吸器専門病院
- □ ⑥ 整形外科専門病院
- □ ⑦ 耳鼻専門病院
- □ ⑧ 消化器専門病院
- □ ⑨ 眼科専門病院
- □ ⑩ 腎泌尿器専門病院
- □ ⑪ 乳腺外科専門病院
- □ ⑫ 産婦人科専門病院
- □ ⑬ 小児専門病院
- □ ⑭ その他の専門病院 ＿＿＿＿＿＿ （15文字以内）
- □ ⑮ 総合病院

（3） 平成26年4月1日から平成27年3月31日の間で持参薬を使用したことがありますか。
（持参薬使用患者数 ÷ 入院患者数）× 100 の概算値でお答えください。

- ◎ ① 一症例も使用しなかった
- ◎ ② 1%～20%の患者で使用
- ◎ ③ 21%～40%の患者で使用
- ◎ ④ 41%～60%の患者で使用
- ◎ ⑤ 61%～80%の患者で使用
- ◎ ⑥ 81%～100%の患者で使用

（4）（3）で「②～⑥ 使用した」を選択された方にお伺いします。使用した持参薬の傷病との関係をお答えください。
貴院において、以下の①と②のどちらのケースでも持参薬の使用があった場合は、①と②の両方を選択ください。

- □① 当該患者の入院の契機となる傷病の治療に係る薬剤
- □② 当該患者の入院の契機となる傷病以外の治療に係る薬剤

（5）（4）で「① 当該患者の入院の契機となる傷病の治療に係る薬剤」を選択された方にお伺いします。
当該持参薬を使用した理由をお答えください。（最も多かった理由）

- ○① 担当医の要請
- ○② 自院側の要請（病院の方針）
- ○③ 患者側の要望
- ○④ 院内採用がなかった
- ○⑤ 特別な理由があった

（6）（5）で「⑤ 特別な理由があった」を選択された方にお伺いします。その理由をお答えください。（100文字以内）

（7）（4）で「② 当該患者の入院の契機となる傷病以外の治療に係る薬剤」を選択された方にお伺いします。
当該持参薬を使用した理由をお答えください。（最も多かった理由）

- ○① 担当医の要請
- ○② 自院側の要請（病院の方針）
- ○③ 患者側の要望
- ○④ 院内採用がなかった

（8）（3）で「②～⑥ 使用した」を選択された方にお伺いします。院内採用がない持参薬が終了した場合、どうされていますか。

- ○① 臨時採用として購入する
- ○② 受診医療機関より処方してもらう
- ○③ その他 ＿＿＿＿ （50文字以内）

（9）（3）で「②～⑥ 使用した」を選択された方にお伺いします。使用しなかった持参薬は、患者の退院時にどのように扱いますか。

- ○① 持参薬を返却し、退院時処方と共に持参薬も服薬の指導を行う
- ○② 持参薬を返却し、患者の希望があれば、持参薬も服薬の指導を行う
- ○③ 持参薬を処分し、退院時処方として新規に処方する
- ○④ 特に何もせず、持参薬を返却する
- ○⑤ その他 ＿＿＿＿ （50文字以内）

（10）（3）で「① 一症例も使用しなかった」を選択された方にお伺いします。その理由をお答えください。（100文字以内）

（11）使用実績のある持参薬があれば、直近1ヶ月（平成27年6月1日から30日）で実績上使用数量の多かった順に
その薬効分類をお答えください。（10個以内）※ 調査用HPに掲載の「薬効分類番号表」を参照し、番号を記載ください。

①		③		⑤		⑦		⑨	
②		④		⑥		⑧		⑩	

（12）使用実績のある持参薬があれば、直近1ヶ月（平成27年6月1日から30日）で実績上使用数量の多かった順に
その薬剤名をお答えください。（10個以内）※ 調査用HPに掲載の「薬剤一覧表」を参照し、薬剤のレセプト電算コードを記載ください。

①		⑥	
②		⑦	
③		⑧	
④		⑨	
⑤		⑩	

2. 貴院における持参薬の管理についてお伺いします。

（本項は1(3)において、「②～⑥ 使用した」を選択された病院のみお答えください。）

（1）入院時の持参薬の確認は、主として誰が行っていますか。

- ① 薬剤師
- ② 医師
- ③ 看護師
- ④ その他 ＿＿＿＿（20文字以内）

（2） 貴院で持参薬について確認している項目をお答えください。（複数選択可）

- ☐ ① 商品名
- ☐ ② 一般名
- ☐ ③ 規格
- ☐ ④ 剤型
- ☐ ⑤ 用法・用量
- ☐ ⑥ 相互作用
- ☐ ⑦ 残日数
- ☐ ⑧ 持参薬は院内採用薬に入っているか
- ☐ ⑨ 代替薬（持参薬が院内採用薬に無い場合）
- ☐ ⑩ 自院処方か、他院処方か
- ☐ ⑪ 手術予定患者などの中止すべき薬剤の確認

（3） 持参薬を入院中に服用させるため、服薬計画を立てていますか。立てている場合は、主として誰が行っていますか。

- ① 服薬計画は立てていない
- ② 薬剤師
- ③ 医師
- ④ 看護師
- ⑤ その他

（4） （2）で確認した内容を記録しているシステムはありますか。
例えば、薬剤部等で、入院時に患者が持参した薬剤を確認した際に用いているシステムを選択してください。（複数選択可）

- ☐ ① 電子カルテ
- ☐ ② レセプトコンピュータ
- ☐ ③ 電子薬歴システム
- ☐ ④ DPCデータ作成用システム
- ☐ ⑤ 持参薬管理用のシステム
- ☐ ⑥ その他 ＿＿＿＿（50文字以内）
- ☐ ⑦ なし

（5） 持参薬を使用した場合、入力しているシステム（日々の使用量等）はありますか。（後述する3(3)で挙げる薬剤は除く。複数選択可）

- ☐ ① 電子カルテ
- ☐ ② レセプトコンピュータ
- ☐ ③ 電子薬歴システム
- ☐ ④ DPCデータ作成用システム
- ☐ ⑤ 持参薬管理用のシステム
- ☐ ⑥ その他 ＿＿＿＿（50文字以内）
- ☐ ⑦ なし

（6） （4）、（5）でシステムに入力する際は、どのように記録していますか。
システム以外で管理している場合は、「③ その他」をご選択ください。※ ①と②の両方に該当する場合は、②をご選択ください。

- ① 確認した（使用した）持参薬の名称を文字列としてシステムに直接入力している
- ② 確認した（使用した）持参薬がレセプト電算コード等※でシステムに記録されている
  ※ 薬価基準収載医薬品コード、個別医薬品コード、JANコード、レセプト電算処理システム用コードを指す
- ③ その他 ＿＿＿＿（50文字以内）

（7） EFファイルに使用した持参薬を出力していますか。※ 把握が難しい場合はシステムベンダーへご確認ください。

- ① はい　※コメントコード（810000000）で出力している場合は、該当しません
- ② いいえ

（8） レセプトコーディングデータに使用した持参薬を出力していますか。※ 把握が難しい場合はシステムベンダーへご確認ください。

- ① はい
- ② いいえ

3. 持参薬についてのお考えをお伺いします.

（1） 持参薬として使用を認めて欲しい薬効分類があればお答えください。（10個以内）
※ 調査用HPに掲載の「薬効分類番号表」を参照し、番号を記載ください。

①		③		⑤		⑦		⑨	
②		④		⑥		⑧		⑩	

（2） 持参薬として使用を認めて欲しい薬剤があればお答えください。（10個以内）
※ 調査用HPに掲載の「薬剤一覧表」を参照し、薬剤のレセプト電算コードを記載ください。

①		⑥	
②		⑦	
③		⑧	
④		⑨	
⑤		⑩	

（3） 使用量の把握が不可能な持参薬はありますか。
把握が不可能であるために日々の使用量を管理していない持参薬があれば記載してください。
また、使用実績が無くても、把握が不可能と想定される薬剤があれば記載してください。

- ☐ ① 点眼薬
- ☐ ② 塗り薬
- ☐ ③ 吸入薬
- ☐ ④ その他 ＿＿＿＿ （50文字以内）
- ☐ ⑤ なし

4. 持参薬の取り扱いについて、特に意見がある場合はこちらに入力してください（1000文字以内）。

質問は以上となります。ご回答ありがとうございました。

提出の際は未記入欄がないかをよくご確認の上、ご提出ください。

提出用ファイル作成